

国内屈指の「創造型劇場」が取り組む、キッズ向け演劇作品を同日上演 SPAC 新作『鏡の中の鏡』／KAAT 新作『わたしたちをつなぐたび』

プレス関係各位

平素より、SPAC・静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPAC は、他地域の公立劇場と相互に知見を交換しながら舞台作品の創造・発信をすることで、創造性の高い舞台芸術が広がる仕組みづくりに取り組むべく、KAAT 神奈川芸術劇場との連携をスタート。その第一歩として、SPAC と KAAT がそれぞれキッズ向けの演劇作品を創作、静岡では「グランシップ世界のこども劇場 2025」との連携事業として 2 作品を連続上演いたします。

「宝探し」をテーマに取り組む、高い芸術性を備えたキッズ向け演劇作品

SPAC は、演劇を通して多くの知見を得て磨きあげられた人材を“宝”と捉え、近年は演出家としても活躍目覚ましい寺内亜矢子を起用。世界の大舞台を経験した俳優たちとともに、日本でもファンの多いミヒャエル・エンデ原作の『鏡の中の鏡』に挑みます。寺内はその巧みな構成力で、ファンタジックで哲学的なエンデのテキストを立ち上げ、深沢襟による摩訶不思議な舞台美術と、SPAC らしさあふれる音楽性豊かなセリフ術を活かし、現実と幻想のはざまを旅するような演劇体験をお届けします。

KAAT は、イリーナ・プリヌルの人気絵本『わたしたちをつなぐたび』を舞台化。演出に大池容子を迎え、少女が自らの出生をめぐる旅に出るすがたを表情豊かに描き出します。大池は、劇団「うさぎストライプ」を主宰し、近年はテレビドラマの脚本を手掛けるなどその活動の幅を広げ、気鋭の劇作家・演出家として注目を集めています。

公立劇場の連携を深め、質の高い舞台芸術の創造と継続的な上演が可能な仕組みを築く

舞台芸術を通して人々の心を豊かにする地域の拠点となり、常に活力ある社会をつくるために、それぞれの地域において求められる舞台芸術作品を自ら創造・発信し、また地域のアーティストを育成するという、公立劇場本来の役割を見つめ直し、SPAC は KAAT と協働して「シアター・リーグ・プロジェクト（仮称）」という構想を立ち上げました。

このプロジェクトでは、ネットワークの輪を全国各地へと広げ、多様な舞台芸術を制作するノウハウの共有、劇場間ネットワークの強化、また上演機会を互いに確保することで、上演作品の多様化と収入の確保、観客層の拡大を目指していきます。

地域に根差しながらも、質の高い創造活動を行う SPAC と KAAT の新しい取り組みに、ぜひご注目ください。



グランシップ世界のこども劇場 2025 連携事業

『鏡の中の鏡』

原作：ミヒャエル・エンデ「鏡のなかの鏡－迷宮－」 訳：田村都志夫

構成・演出：寺内亜矢子

出演：大高浩一、榊原有美、杉山賢、館野百代

『わたしたちをつなぐたび』

原作：イリーナ・プリヌル 訳：三辺律子

上演台本・演出：大池容子 音楽：小林顕作

出演：藤戸野絵、少路勇介、下司尚実、山田茉琳、岩永丞威

会場：グランシップ 中ホール・大地

8月2日（土）	13:00 開演 『わたしたちをつなぐたび』
	16:00 開演 『鏡の中の鏡』
8月3日（日）	13:00 開演 『鏡の中の鏡』
	16:00 開演 『わたしたちをつなぐたび』

企画制作：KAAT 神奈川芸術劇場・SPAC・静岡県舞台芸術センター

主催：SPAC・静岡県舞台芸術センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）|独立行政法人日本芸術文化振興会

プロフィール

『鏡の中の鏡』構成・演出

寺内亜矢子（てらうち あやこ）

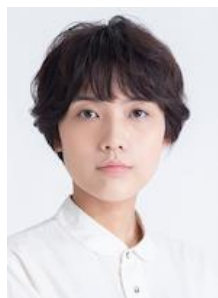


俳優・演出家。1997年、ク・ナウカ シアターカンパニーにて演劇活動開始。2007年の劇団休止後は、SPACを主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優・演出・演奏・音楽構成・ドラマトゥール・通訳・翻訳等、舞台芸術創作に関

わるもろもろを手がける国際派マルチプレイヤー。SPACでの演出作には『おおつと ええつと ええじゃないか』（ふじのくに野外芸術フェスタ 2020 in 掛川）、『忠臣蔵 2021』（共同演出）、『リチャード二世』（秋→春のシーズン 2022-2023）、『ばらの騎士』（秋→春のシーズン 2023-2024／宮城聡との共同演出）などがあるほか、SPAC 演劇アカデミーでの実技指導や発表会の演出も担当している。

『わたしたちをつなぐたび』上演台本・演出

大池容子（おおいけ ようこ）



劇作家・演出家・うさぎストライプ主宰。1986年大阪府生まれ。2010年4月より青年団演出部に所属し、同年10月にうさぎストライプを結成。2013年9月、芸劇 eyes 番外編・第2弾「God save the Queen」に参加。2019年3月、二人の父親と一人の娘による“ありふれた”

家族の姿を描いた『バージン・ブルース』で平成30年度 希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」大賞を受賞。2021年12月、NHK特集ドラマ『いないかもしれない』脚本で Asian Academy Creative Award 2021 BEST ORIGINAL SCREENPLAY 優秀賞を受賞。2024年4月、日本大学芸術学部演劇学科助教に就任。

この公演では、以下の鑑賞サポートを実施いたします。

- セリフや効果音などをお手元でご覧いただけるポータブル字幕タブレットの貸出し
- 舞台上の様子をリアルタイムで説明する音声ガイド貸出し

▼お申込みはこちらから（要申し込み/無料）

<https://forms.gle/cTqFJp7avW9MHRVN6>

◎チケット料金〔1作品につき／税込〕

- おとな： **3,500 円**
- ユース〔25歳以下および大学生・専門学校生〕 **1,000 円**
- こども〔高校生以下〕 **500 円**

※公演当日、受付にて年齢の分かる身分証または学生証をご提示ください。

★こども＋おとな割引

こども（高校生以下）ご同伴で、おとなが **2,000 円に！**例）こども 1 名＋おとな 1 名＝**2 名で 2,500 円**こども 1 名＋おとな 2 名＝**3 名で 4,500 円**

◎予約方法

SPAC チケットセンター

- ウェブ <https://spac.or.jp/ticket>
- 電話 **054-202-3399**
- 窓口 静岡芸術劇場チケットカウンター

※電話・窓口受付時間 10:00～18:00、休業日（7/15）を除く。

注意事項

- ※ 本公演は、舞台上客席です。（全席自由）
- ※ 3歳以下のお子様はご入場いただけません。【[託児サービスあり](#)】
- ※ 客席へのご案内は、各回開演の30分前を予定しています。
- ※ ご入場は開場時間より、チケットに記載されている整理番号順にご案内いたします。
- ※ 車椅子でご来場の方はご予約時に SPAC チケットセンターにお問い合わせください。

【神奈川公演】KAAT キッズ・プログラム 2025

『わたしたちをつなぐたび』 日程：7月21日（月・祝）～7月27日（日）

『鏡の中の鏡』 日程：7月26日（土）・27日（日）※7/26（土）・27（日）は、2演目同日上演

会場：KAAT 神奈川芸術劇場＜大スタジオ＞ 主催：KAAT 神奈川芸術劇場

本公演に関するお問合せや取材のお申込みは、SPAC 広報担当 計見までご連絡下さい。

Tel：054-202-4008（舞台芸術公園）／E-mail：keimi@spac.or.jp